

成講習

内容 溺者の救助と応急手当
日時 10月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)午前9時～午後5時(27日のみ午後3時まで)
会場 北海道青少年会館(南区真駒内柏丘7)。
対象・費用 50歳以上泳げる18歳以上の方30人。4千800円。
申込 10月15日(火)午後6時45分～7時に赤十字会館へ直接。
抽選
詳細 日赤札幌市地区本部

生活かわら版

クマに注意

札幌の山にはヒグマがすんでいます。今年も多数の目撃情報が寄せられていますので、事故を未然に防ぐため次の点にご注意を。

クマに遭わないために

- ・新聞やテレビ、市のホームページなどでのクマ出没情報に注意する。
- ・入山はクマが活発に動く早朝や夕方を避け、集団で。
- ・ふんや足跡を見つけたら引き返す。
- ・話しながら歩く、鈴を付ける、手をたたくなどして人の存在をクマに知らせる。
- ・食べ物やごみは絶対に捨てずに持ち帰る。
- ・もしクマに遭遇したら慌てて逃げず、落ち着いて静かに立ち去る。

(211) 3339

11月9日は119番の日

119番通報(緊急時のファクス通報も同番号)の際は、慌てず次の点に注意しましょう。
① 火事か救急かを明確に。② 場所を正しく、詳しく。③ 何が(誰が)どうしたかを正確に。④ 通報者の名前と電話番号を忘れずに。
救急車を要請する際、呼吸の停止、窒息や多量の出血が

ある場合は、通報を受けた職員が応急手当を口頭で指導します。
詳細 指令課(215)2080、FAX(261)9119

市防災協会救命講習会

△ 応急手当普及員養成講習
内容 心臓マッサージ、人工呼吸などの技術と指導方法。
日時 11月12日(火)～14日(木)午前9時～午後5時。
会場 消防局(中央区南4西10)。

対象 受講後に所属する事業所や町内会、サークルなどで応急手当での指導に従事できる18歳以上の方30人。
費用 2千940円(テキスト代。希望者のみ)。
申込 はがきに上欄必要事項と生年月日、勤務先か団体名を記入し10月31日(木)(必着)までに市防災協会(〒064-0806中央区南6西12)へ郵送。
抽選
詳細 市防災協会(533)7371

この時期、日没時間が早まることから、夕暮れ時は事故が多発する危険な時間帯となります。一日の疲れからくる視力・注意力の低下により、歩行者や自転車が夏場よりも見えにくくなります。薄暮時には、歩行者などに一層の注意を払い、早めのライト点灯で車両同士の事故も防ぎましょう。
歩行者・自転車利用者は、ドライバーの状況を踏まえ、明るい服装と夜行反射材の利用を習慣付けましょう。道路の横断では、左右の確認を確実にいきましょう。

秋の火災予防運動 (10/15(火)～31(木))

暖房器具を使い始める時期を迎え、火災の発生が心配されます。また、たばこによる

火災も増加しているの、注意しましょう。期間中は、消防訓練、防火パレードなどのイベントを開催する予定です。

汚水を下水道に流す場合は届け出を

家庭や事業所、店舗などで水道水・地下水を使用して、

飼い犬の登録と 狂犬病予防注射を

室内犬を含め、生後91日以上は、生涯1回の登録と、毎年度の狂犬病予防注射が必要になります。必ず、動物病院で受けてください。

交通安全ひとくちメモ

△ 目立つ服 暗い夜道の案内

発生 8,035件 (-462)	平成14年 9月18日現在(前年比)
死者 47人 (-1)	
傷者 9,879件 (-517)	

広告欄